

上越市議会議員 丸山 章 だより

全力で皆様の声を市政に !!

隕石の里から

いん

せき

さと



第5号 平成30年 11月

発行責任者 丸山 章

/ 上越市清里区馬屋777

国の本気度？
市の覚悟が必要!!

待ったなし 少子化対策 人口減少問題

議会では、人口減少問題調査対策特別委員会から、本年度より「移住定住促進対策特別委員会」に名称を変更して活動

高齢者対策等へも波及効果大

(オーレンプラザ プレイルーム)

当市の多くの課題の中で、特に「少子高齢化」「人口減少」問題が重要課題の一つとなつていきます。

少子化対策は、国はもとより当市にとっても喫緊（きつぎん）の課題と言っても過言ではありません。太平洋ベルト地帯に住む人たちにとっては、まだ実感がわかない側面もあるのかもしれませんが、残念ながら、残念ながら、国の本気度が見えません。

なぜ、少子化対策が重要なのか、人口が減少し高齢化が進展すること、市の経済が尻つぼみになっていくうえ、徐々に活力が奪われることが予測されます。資本ベースで考えた場合、貯蓄率が下がり生産性も低下し、市の経済成長率も鈍化して行くことにつながってまいります。

人口減少が続けば、いずれ地方行政は行き詰まり、行政サービスの質は低下するなど、負のスパイラルに繋がっていくことが心配されます。

また、介護を必要とする高齢者の世話をする人材が確保でき

ないことから、外国人の増加が見込まれますが、言葉や文化の違いに戸惑うことがあげられると思います。少子化は、高齢者にも大きな影響をもたらすことになるものと思います。

国は、地域づくりに積極的なところには、補助金等で支援することを打ち出しています。危ないと感じる前に行動が必要で、回避するには、長期的視点に立った取組が必要になってまいります。「少子化対策Ⅱ人口減少問題」という難局を乗り越えて行くという市の覚悟が必要である時期と考えます。

一方、将来世代に心配をかけるために、「私たちが今できること」、「ガマンしなくてはならないこと」、「痛みを分かち合うこと」など、もう一度立ち止まって考える必要があるように思います。

〔例〕市を挙げた人口減少抑制対策について検討し、その実施を推進するため、副市長を本部長とする人口減少問題対策本部を設置し、全庁で取り組んでいる自治体もあります。当市においても、積極的な政策作りをしなければならぬと考えます。

6月定例議会 一般質問

喫緊の課題 子供を育てやすい 環境づくり

効果的な少子化対策 市長の決意を問う

本年3月定例会で、

少子化対策の一般質

問を行いました。

時間が無くなり再

質問をすることができな

かったことから、改めて

少子化対策について一般

質問をしました。この問

題は、当市だけでなく国

レベルの大きな問題である

ことは言うまでもありませ

ん。

当市から先手を打つ

環境づくり



四半世紀にわたり少子化対策が施されてきましたが、回復しませんでした。政府も本腰を入れたと言いますが、組織体制を見ますと、危機感は薄いといわざるを得ないと思います。国の対応を待ち続けるのは、時に、我々のような小都市にとって、由々しき事態になりうると予測できることから、先手を打つことが求められます。

市長の決意を問う

問／子育て支援のみならず、

教育環境の充実、産業の

進行など、様々な政策を

結集して、少子化対策を

推し進めたいとしている

が、あまり効果が表れて

いないと考えるが、市と

しての認識は。

答／医療費助成等、様々な

施策を展開してきた。出

生数は減少傾向にあるが、

「合計特殊出生率」は、国

・県の数値を上回る傾向

が続いており、一定の効

果は出ている。

問／上越市版エンゼルプラ

ンは、即効性のある斬新

的なプランにすることが

大切であるが、いつ頃ま

で、どのようなプラン

にまとめようと考えてい

るのか。

答／平成31年度の策定を予

定、現行の関係施策を包

括、体系化の上で計画的

に実施して行く。

問／小学校から大学までの

教育費等に費用がかかる

から2人目以降の出産を

控える一方、職場の理解

が得られれば、もう一人

子供を持ちたいと。ゆえ

に、新たな給付制度の創

設や企業等への理解を得

るための取組みは不可欠

と思うが。

答／就学援助などの負担軽

減を図っているが、給付

型も視野に入れ、奨学金

制度拡充の調査研究を進

めている。また、ワーク

バランスの実現に向けて

企業等に対する支援に努

めている。

問／全ての政策分野で、効

果的な少子化対策を推進

していることから、市長

直轄の少子化対策特命チ

ームは考えていないとの

ことだが、現体制で効率

的かつ効果的な施策をど

う実現して行くのか。

答／引き続き、政策監会議

等で分野横断的な調整機

能を十分活用し、少子化

の緩和・解消に向け、効

果的な少子化対策の推進

を行っていく。

〔再質問〕

問／少子化対策について、

政策的にどの程度の位置

に置いているのか、危機

感はどうのように感じて

いるのか。

答／危機感を持ったとして

も、社会の大きな変化の

中で非婚化、晩婚化が進

む。政策の中に生かされ

たとしても、社会全体が

子供を多く生み育てると

ころに動くか見通すこと

ができない。

問／働いている母親の場合、

職場の心遣いが二人目を

産もうとの気持ちを左右

していると言われている。

企業、団体等の理解を得

るための努力をすると、

その意志を示していただ

きたい。

答／経営者、事業者の皆さ

んから意識を持つてもら

うための啓発事業等を含

めて取り組んでいること

から、その課題を整理す

る中で、取り組むべきも

のがあれば、更に取り組

んで行く必要があると考

えている。

問／過去に、景気対策のため、国でも賃上げを各企業に呼びかけた。企業、

団体の皆さんに職場の環境を少しでも改善してほしい旨、なぜお願いすることができないのか。

答／子供を産むのであれば、いつでも会社を辞めてもらっても結構だとする状況が、当市の企業にあるとは思えない。行政は万能ではないため、民間がすべきことは民間に任す。意識改革として、出前講座を含め企業の皆さんに話をしている。

問／3人目以降の出産を見合わせた夫婦の7割がお金がかかりすぎると。第3子以降の子供に1人当たり1,000万円規模の大胆な支援を唱える学者がいる一方で、市民で子供年金を提案された方もいる。市の施策に反映できるかどうか調査研究することは大切と考えるが、いかがか。

答／当市の子育て支援は他市に劣っているとは思っ

ていない。まずは、エンゼルプランを立て、子育て支援の拡充、新規事業の可能性を踏まえ、議論していきたいと考えているため、現時点で給付型は考えていない。

問／調査研究するという前向きな考え方は無いという前ことなのか。

答／全庁的な議論の中で検討して行くということになれば、当然議論して行くべきものであると認識している。

意見／少子化問題は、大きな課題であることから全庁的に議論を深めてほしい。良い施策であるならば、解決に向けて前進することができると。前向きな姿勢で調査研究に臨んでほしい。

問／国におんぶに抱っこだけでは前に進まない。当市から少子化対策の先進事例を生み出すくらいの熱意と覚悟がないと解決できない。市長の強い信念があるなら良い結果が生まれる。それには、し

っかりとした体制（市長直轄の専門部署）、司令塔を設けることが必要と考えるが、いかがか。

答／職員の力を発揮させるため、主管課に調整担当の副課長制度を設けているうえ、部長を政策監として任命し、政策監会議をもち、立案の取りまとめを理事に指示。組織の力を十分に発揮し施策を決定しているため、新たな組織は考えていない。

問／虐待等の悲惨な報道が度々あるが、テレビ等を見聞することが嫌になることがある。こうした報道が、結婚、出産、子育て等にマイナスイメージを与えている。FM上越等とタイアップし、結婚、出産、育児で味わった喜びや感動したことを伝える情報番組を企画できないか。

答／子育てのやりがい等、市民に発信して行くことは重要であると認識している。まず、エンゼルプランの中で取り組んで行

きたい。また、健やかな暮らし包括支援センターでもしっかりと取り組んで行きたい。

9月
定例議会

急ぎよ
本年度の異常気象豪雨猛暑
対策への一般質問

災害（豪雨等）対策



本年7月に発生しました西日本豪雨は目を覆いたくなるような災害になりました。警察

庁の発表では、7月末現在、被災地での死者が15府県の225人に上った事が明らかになりました。また、気象庁によると、総降水量が最も多かったところ

は、四国地方で1,800ミリ、東海地方で1,200ミリを超えるところがあるなど、7月の月降水量平年値の2〜4倍となる大雨となったところがあつたと伝えていきます。これだけの量の雨が当市に降ったならどうなるのだろうかと思つた時、身震いするほどの怖さを感じました。

安心・安全への 備え万全か？

近年、想定外の災害が多く発生しています。中山間地域（地すべり防止区域）にある避難所の再点検や指定避難所における良好な生活環境の確保のため、少なくとも冷房設置が必要ではないのか。西日本豪雨災害からどのような事例を教訓として、今後の災害対策にどう生かして行くのかなどについて、改めて現状、改善点等について質疑しました。

市の回答は、避難所は「土砂災害の恐れがある場合には利用せずに、最寄りの安全な避難所や避難場所へ避難すること」を取り決めている。また、真夏時の冷房設置は、国のプッシュ型支援により、被災地の多くの避難所等にクーラーが設置されており、国では、発災後1週間で供給可能な大

型クーラー等の冷房施設を3・200台確保し、比較的早い段階での支援を可能としている。当市でも様々な企業と応援協定を締結しているため、クーラーの提供が可能である。更に、西日本豪雨の様々な問題点を「情報収集」「情報伝達」「避難行動」「避難所対応」「復旧」「ハード対策」の6つのカテゴリーに分類し、検証を進めている。

市（理事者側）へ注文

国の基準があるから、それに従っている。災害の恐れが生じたときは、ハザードマップ等に基づき避難する。確かにそうだが……。避難をする際、豪雨であったり、夜間であったりした場合、避難がしにくいうえ、大変危険が伴う。尊い命を守る手立てとして、適切な

避難行動・判断等が求められる。今、検証を進めているとのことだが、国等が決めたものであるからと安住することなく、常に、頭を柔らかく、疑問を持つて市民の方々の安全を考えてほしいものです。

小・中学校の普通教室 エアコン設置へ



今夏の猛暑により、学校教育環境の改善が急務であるとの観点から、私は、当初予定しておりました一般質問を急きよ

取りやめ、普通教室にエアコン設置を速やかに行うよう一般質問を行いました。他にも2名の議員（近藤彰治議員、上野公悦議員）が同様の一般質問をされました。昨年、6月定例議会の田中議員の一般質問で、エアコン設置について教育長は、暑い夏でも校舎そのものが自然通風できるように校舎が建築され、扇風機も各教室に置いてあることから、エアコン設置は考えていないと答弁していましたが、今夏の猛暑により一転、来年以降にエアコン設置へと舵をきりました。

教育長は、国の財政支援の規模や維持管理費など、様々な情報を収集しながら、市の財政状況を勘案して、子供たちの命を守る対策として、熱中症対策を確実に実施してまいりたい、設置を前提に、早急に検討して行きたいと明言しました。

安倍総理、エアコン設置費用 秋の臨時国会提出を言明

9月20日（木）
自民党総裁選
3選直後の安倍
総理の記者会見
で、今夏の猛暑
による熱中症が
相次ぐなど、全
国で、近年の気
象変化に大きな
不安を感じてい
ることから、急
を要する対策に
ついて、猛暑対
策の一環として、
小中学校の普通
教室にエアコン設置をする
ための予算を、きたる臨時
国会に補正予算を提出する
考えである。速やかに編成
会議を開始すると言明しまし
た。

いきいき 地域のお話

家族・地域の「和・輪」のために！

みんなで集うひととき

幸せのために！

○城下町高田・本町七夕まつり(高田区)

7月7日(土) 本町商店街
商店街を彩った園児の短冊。笹の葉に色とりどりの短冊をつるし、願いが叶いますようにと！



○岩の原葡萄園 秋の収穫祭 2018(高士区)

9月29日(土)～30日(日) 岩の原葡萄園
「日本のワインぶどうの父」川上善兵衛の生誕150年の節目の年、訪れた人たちが挙って祝いの美酒に酔いしれる。



○七夕まつり

浴衣で(DE)おいで(和田区)

7月7日(土) 上越妙高駅
七夕の夜に再会の願いを叶えた「おりひめ」と「ひこぼし」のように、願いが叶えますように！

○有田地区町内対抗 親善ソフトバレーボール大会(有田区)

7月15日(日) カルチャーセンター
39回目を迎える大会に、10歳代から60歳代の老若男女、9チーム200人が集い、世代を超えた交流を深める。



○船見公園夕日コンサート2018(直江津区)

9月1日(土) 雨を避け、直江津屋台会館で開催
海や直江津の魅力を発信しようと昨年から始めたコンサート夕日は見えずともフォークや演歌を存分に楽しむ。



○あじさいの里まつり(金谷区)

7月1日(日) 正善寺工房
みんなの気持ちが一つにこの他、竹の子祭(5月)・みょうが祭(8月)・収穫祭(11月)を開催。

会派「市民クラブ」研修報告

全国地方議会サミット2018に参加

テーマ

議会のチカラで日本創生



片山善博（早稲田大学教授、元鳥取県知事）などの一流講師陣が参加

お二人は、知事に就任して直ぐに、県の執行部や議会（議員）に対して、従来の姿を変えることを求めました。果敢に断行するにあたり、

関係者は禁断症状を起こすけれども、本来の政治を蘇らせたお二人です。

印象的だったこと

①北川名誉教授は、民意を代表する議会、本当の主体は議会であるので、今までのような執行部の追認機関でなく、2元代表制の機能を発揮すべく、自分たちこそが地方を変えて行くパイオニアとして、パワーを持って行動して行くことにより、地方創生が実現できると強調されました。

「地方議会から日本を変える」と題して、北川正恭名誉教授の基調講演の下、平成30年7月11日（水）、12日（木）の二日間にわたり、全国から1,000名を超える地方議員が集い、早稲田大学大隅記念講堂大講堂で「全国地方議会サミット2018」が開催されました。当日は、特別講演やパネルディスカッションなどを通じ、地方議会の先駆的な取組や可能性について学びました。

北川正恭（早稲田大学名誉教授、元三重県知事）、

②片山教授は、従来からのものを踏襲するのではなく、

本当の意味での分権化を進めるのは議員であるため、施策に対して冷めた目で見るのが大切である。議会は市民の経験や英知を聞くなど、地域視点に立つて、自由闊達に議論しながら地域再生を考えてほしいと熱弁されました。

所感

2040年問題、急激な人口減少が最大の危機で、見えざる有事とも言われています。若者を吸収しながら老いてゆく東京圏と、担い手を失う地方圏、起こり得る可能性が高いのかもしれない。少子高齢化、人口減少など、深刻な課題が小都市上越市にも突き付けられています。

議会として、「この大きな課題等に立ち向かって行くにはどうすれば良いのか」、「本来、求められている議会（議員）が機能しているのか」、この二日間考えさせ

られました。

一方、市議会議員に当選させていたから一貫している私の政治理念などが、正しい方向に向いていることを確かめられた二日間でもありました。

健全かつ有効なチェック＆バランスの働きをもたらす二元代表制の本質を取り戻し、市民の方々から信頼してもらえ政治の確立のため、**議会の立ち位置**が変わるよう努力してまいります。

当議会では、市長から提出された議案に対して、市町村合併後13年間、一度も修正、否決がない「丸のみ議会」という驚くべき状態が続いています。長きにわたり市長の「言いなり」になっている姿が浮き彫りになっています。行政に対して、しっかりとチェック機能を果たすべきでありませんが、その役割を果たしていかないで押揃（やゆ）されてきた面があります。また、情報化社会にあって、市民

の方々が「正しいか、正しくないか」客観的に判断できる環境下にありながら、なぜ全ての議案に、修正、否決がないのか、様々な思惑が絡み合っているの力学が働いてしまうのかもしれない。平成29年度地方議会（市・区）改革度全国9位となっている当議会は、それ相応の対応が求められます。二元代表制の一角を占める議会（議員）が、いかに市長と一定の緊張感を保ちながら市政運営、議員としての天命を果たして行くかが、これからの市政の良し悪しを決めると言っても過言ではないでしょう。

参考

少し古い記事になりますが、平成19年1月からの4年間で、全国の地方議会のうち、首長が提出した議案を一本も修正や否決していない「丸のみ」議会は50%になった。朝日新聞の全国自治体議会アンケートで判明。

（平成23・2・12朝日新聞記事）

おしらせ1

決定

上越ケーブルビジョン 送信網の整備

もう心配なし！
〈雪や豪雨等による電波障害〉

市民の方々の声に基づき、私は昨年度より 上越ケーブルビジョン（株）へ
当エリアの優先設置をお願いしてきましたところ、上越ケーブルビジョン（株）
のご配慮により 優先的に設置していただくことになりました。

2. 地上波だけではなく、
BS やCS 等も利用できる
ので、映画やアニメ、
比較的稳定して視聴出来る。
左右されず、アンテナより
1. 有線なので、天候によ
って受信の強度があまり

■ 加入メリットは

3. テレビ、電話、インタ
ーネットのトリプルサー
ビスをはじめ、「地域の
情報発信」や「上越高
タウン情報」WEBサイ
もスタート。
※但し、費用はかかります
が、それ相応の価値があ
るようです。

■ 配信開始予定

上越ケーブルビジョン（株）
では、順次、各町内会長さ
んや市民の方々への説明会
を行っていくことになりま
すが、加入率が一定程度
（4割強）必要なようです。



整備地域（予定）
三郷区・津有区・高士区
・清里区（一部）・牧区（一部）

おしらせ2

丸山章への厳重注意に対して

新聞報道（平成 30.4）異議申立書に対する
文書回答求めるが頑（かたく）なに拒否される

本年3月定例会において、平成30年度予算（案）のなかで、（仮称）上越市体操アリーナ予算に対する組み替え動議の賛成討論を行った際に、討論内容が不適切であったとして、議会運営委員長名で文書による厳重注意を受けました。

しかし、厳重注意内容に疑義があったことから、同年4月末に異議申立書を提出し、文書での回答を求めましたが頑なに拒否されました。

■ 異議申立書を提出した後
の経緯は、左記のとおりです。

4月26日
議会運営委員長に、異議申立書を直接渡す。
立会人、議会事務局長
4月26日
議会運営委員長が、会って話をしたいとの意向である旨、議会事務局より連絡があり、話し合い日は5月2日午前9時30分と決まった。

5月2日
議長応接室で議会運営委員長、副委員長と話し合い。
議会事務局、参事が同席。
まず、文書での回答を求めた。

文書での回答は出来ない
ので、口頭で回答すること。
しかし、その内

容は文書による厳重注意
を行った際と同じ話に終
始、異議申立書の内容に
沿った回答は全く無かつ
た。

・これでは、公職の責任あ
る回答になっていないの
で、文書での回答を再三
求めたが、頑なに文書で
の回答を拒否された。

5月10日
議会運営委員長に、改め
て議会事務局から文書回
答するか否か確認してもら
うも出さないとのこと。

5月11日
私は電話で、議会運営委
員長に文書にできない理由
を質したものの明言を避け、
5月2日に述べた内容に終
始、改めて文書回答を求め
たが頑なに拒否された。

文書による厳重注意を言
い渡されましたので、同じ
く文書による回答を求めた
ものです。

文書にできない理由？
厳重注意は一体何だった
のか。異例の結果となりました。

『あきら、の信念 「にげない」「ブレない」「あきらめない」』

目指す「政治理念」に

自信深める

―全国地方議会サミット「2018」で裏付け―

市長と議会議員は選挙で選ばれ、自治体経営を行っております。この重要な立場に置かれて議員は、市長と適度な信頼関係を築き上げることは大事なことです。一方で、市政の矛盾点等に対して適切な議論を踏まえながら、市政を質すこと、時に、市長と対峙することは大切なことと考えています。

私は、これからも「信頼感と緊張感」を「メリハリ」を付けて、是々非々で市政と向き合っていきたいと思います。

【二元代表制】

市民の直接選挙で、市長と議員を別々に選ぶ制度です。首相を議員から選ぶ「議員内閣制」の国政とは異なります。市長は、予算や条例などの議案を議会に出したり、人事を決めたりする権限を持ち、議会は議案の議決などで、市長の行政運営を監視することになります。

上越市の未来を見据えて



ビュー京ヶ岳（清里）より撮影

春日区
男性 60歳代

一つ目は、教育の格差が広がっていることにです。近所の小学生がいるご家庭では、週に3ヶ所位習い事に通わせている家庭もあれば、1ヶ所の習い事でもお

市政に一言

金の負担が大変で、泣く泣く辞めさせたという家庭もあります。学校は、就学援助制度があるので通学できますが、民間の塾などは、とても利用できないのです。公的な安い料金で、習い事が色々できる所があるとありがたいです。

二つ目は、高齢者ドライバーによる交通事故が増えていることです。私は70歳位になったら免許証を返納しようと考えていますが、その先のことが心配です。病院の通院や買い物等が不便になると思います。家族にも頻繁に頼めないし、移動スーパ等もありますが少ないです。免許証を返納しても安心して暮らせるようになると良いです。教育や高齢者への政策が素晴らしく、他市から視察にくるような取組みをしてほしいと願っています。

直江津区
女性 40歳代

子供の大学受験を控え、この夏、奨学金の申し込みをしました。奨学金と言

えば聞こえは良いのですが、言葉を変えると「借金」です。新潟県でも非課税世帯で給付型の奨学金制度が始まりましたが、想定が4割だったとか…。そうなるとう一段、次の世帯へ拡充する等考えても良いのではないのでしょうか。

社会の未来を担う子供の教育は、社会全体で支えて行くこと、貧しい家庭に生まれたとしても、教育の機会を保障することは、先進国では常識になっています。大学の授業料を引き下げることがもちろんですが、奨学金制度をより良くすることが必要だと思います。奨学金返済のために結婚をためらってしまうことになる、増々少子化が進み、人口減少にも繋がりがありません。奨学金制度の改革の取組みは始まったばかりで、上越市でも条件付きの取組は

行われていますが、一部のみに当てはまるものばかりです。子供たちが安心して学ぶことができる環境を今後で作っていただきたいと願います。

編集後記

この夏、各地区の祭りにお邪魔させていただきました。その際、「子供たちの歓喜」、「参加された方々の何とも言えない嬉しそうな笑顔」とても印象的でした。祭りには、祈り、願い等が詰まっており、そこに生きる力が生まれてくるような気がします。祭りを通じて「出会う・ふれ合う・語り合う」こうした機会をこれからも継続していただきたいと願うばかりですが、これから寒い季節を迎えますが、くれぐれもご自愛ください。

ご相談、ご意見等は お気軽に
市会議員 丸山 章

携帯 090-4724-0574
TEL 025-528-3859
FAX 025-528-3859

Eメール:
amaru102@yahoo.co.jp